

行事名称	報徳更生寮、明善記念館の視察（神奈川県小田原市、浜松市）	
実施日	令和元年10月31日（月）	
記事	<p>保護司14名が参加して小田原市の「更生保護法人 報徳更生寮」と浜松市の「明善(めいぜん)記念館」を視察いたしました。</p> <p>報徳更生寮の歴史は古く、大正12年に鍵山俊治氏によって設立されたものです。昭和3年に財団法人小田原少年院と改称された後、平成8年に現在の「更生保護法人 報徳更生寮」と変革しております。小田原駅からは徒歩15分程度ですが、近隣には小田原拘置支所や、平成31年3月に閉庁された小田原少年院が有り「なるほど」と思わせる立地場所です。寮では更生保護事業として、更生の意欲を持っている犯罪や非行を行った者を宿泊保護、食事の提供を行い、社会復帰に必要な指導や援助を行っています。執行猶予者や保護観察に付された人、起訴猶予処分になった人、家裁で試験観察となった人などを対象に援助を行っています。寮の定員は、男子少年3名、男子成人30名の男子専用の施設です。個室タイプの居室や清潔な浴室、おいしい食事の提供など、快適な環境で社会復帰を目指すことができます。また、地域社会とも活発な交流を図り、更女会などと連携して寮生の厚生を積極的に援助しています。</p> <p>天竜川の治水、治山事業を始め北海道の開拓事業や出獄人保護事業などを行った明治時代の実業家「金原(きんぱら)明善」の功績を伝える明善記念館を視察しました。館長から解説を聞いたのち、展示品の見学を行いました。</p>	 <p>建物の外観</p>  <p>会議室で説明を伺う</p>  <p>玄関前で記念撮影</p>